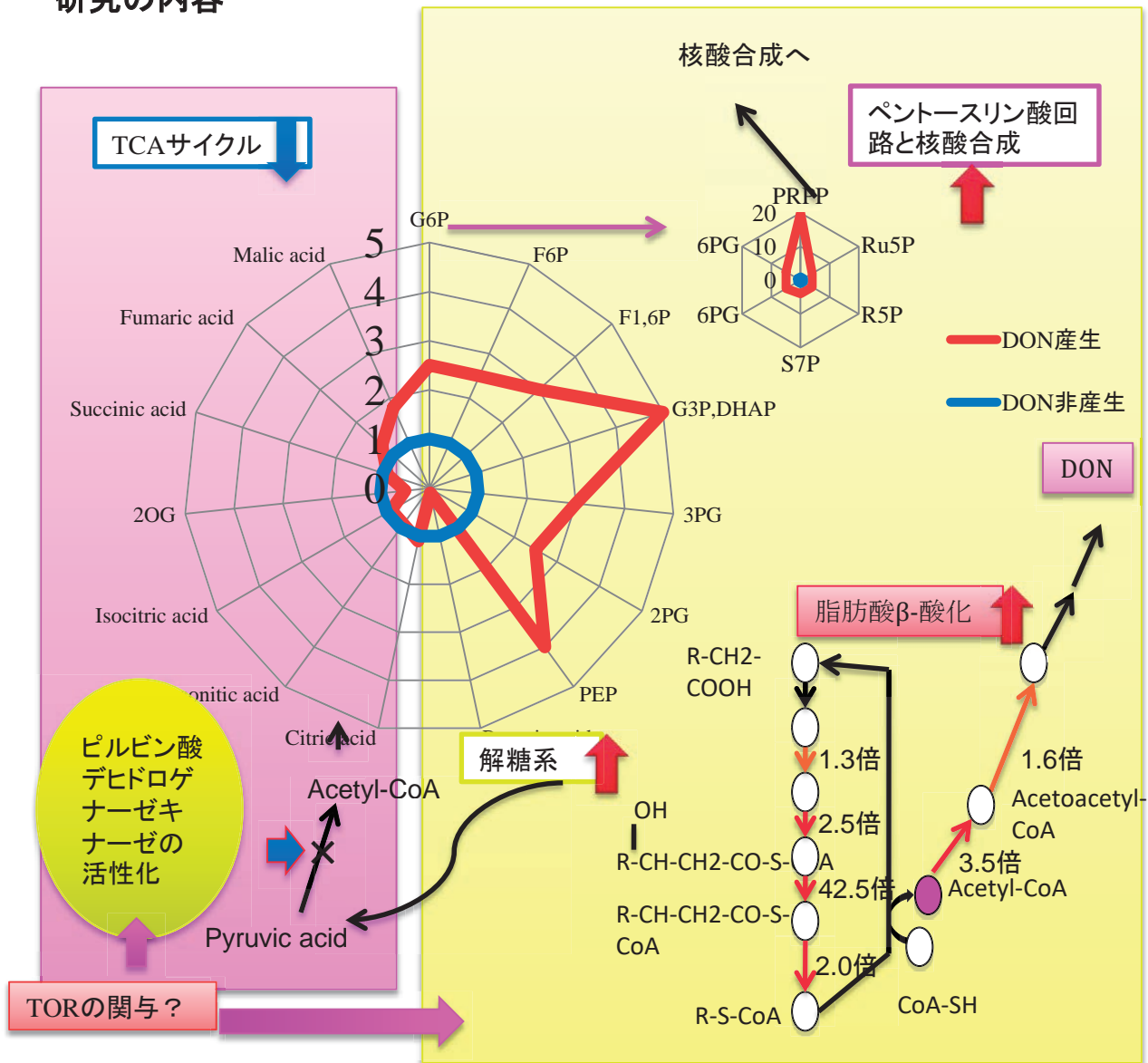


*Fusarium asiaticum*のデオキシニバレノール産生に及ぼすアグマチンの影響

技術の特徴

植物が産生する病害性抵抗物質の一種であるアグマチンは、*Fusarium asiaticum*のDON産生を促進する。アグマチンを培地に添加すると、*F. asiaticum*遺伝子の発現量は全体的に増加する。この時の*Fusarium asiaticum*の細胞内の状態を把握し、DON産生調節メカニズムを解明する。

研究の内容



アグマチンの刺激により、**TOR経路の活性化**が起こり、様々な代謝の変化による核酸合成誘導、DONの産生誘導、窒素源の取り込みと還元が増加などが起こっていると推測出来た。



農研機構
食品研究部門

代表研究者: 岩橋 由美子
所属: 食品安全研究領域
食品化学ハザードユニット